

中芸高だより

平成26年度
第4号



中芸学発表会

12月13日(土)、田野町ふれあいセンターで「中芸学」の発表会が行われました。これは総合的な学習として、地元・中芸地域に関して、各グループでテーマを設定し、実際に現地に赴いて見学やインタビューを行い、考察し、まとめ、報告するものです。7月・8月と12月に、約6日間をかけて左記のねらいで取り組みました。

- ① 地域に根ざした活動に基づく地域理解と連携
 - ② 表現力やコミュニケーション能力の育成
 - ③ 思いやりの心や公心の育成
 - ④ 福祉の精神、共に生きる態度の育成
 - ⑤ 自己を見つめ、将来の自分の在り方、生き方を考察
- 当日は教育委員会や大学の先生、開かれた学校づくり推進委員など、来賓や保護者の方々に越えたいいただき、緊張しながらも、それぞれ工夫を凝らして発表することができました。各チームの発表テーマと内容、また来場いただいた方からのご意見を紹介します。



発表会アンケートより

○ インターネットやパンフレットに頼らずに、その土地の人との交流から学び、自分の感想を含みながらの発表に、皆さんの頑張る姿勢を見ることができました。知らなかったことが多く、楽しく発表に参加できました。学習とプレゼン作りを楽しんでいることも伝わりました。

○ ただの発表ではなく、次に活かす未来につながる発表でとても良かった。

○ 各発表について原稿を見て読むのではなく、覚えて発表してはどうでしょうか。調べたことを発表する、その後の一歩をどう考えるのか、地産地消↓地産外消へ、地域の宝をどのようにアピールできるのか「ほんでどうする」が重要であると思います。大いなる発展を期待申し上げます。

○ 各班内容も大変よく調べてあり、発表もよかったです。残念なのは保護者等の見学が少なかつたことです。

○ 学年が進むにつれ内容的にも深みが増し、発表態度、方法等がうまくなりますね。ふるさと学習「生活科」の基礎の上に中学・高校の総合学習がしっかりと根付いていると感じ大変嬉しく思いました。

○ 続けていくことで、先輩方の実践を土台に学びを広げていくことは素晴らしいと思いました。一年で場やものを知り、二年でそこにいる人とつながり、三年でその人と共に発信できるそのようなものも楽しいかもしれません。みんな一生懸命で素敵でした。

○ 学習の成果が素晴らしかったです。イチジクの商品開発や、学習を通して人の魅力にたどり着いたのは素晴らしいと思えました。

○ 一〜三年にかけて取り組み発表することで、発展していけることが良いと感じました。(三年次生の発表は実践にまで取り組めていて素晴らしいです。)地域のことを改めて考える場としてもぜひ続けてほしいです。

○ 防災は中芸学の柱として根付いていると感じました。ぜひ来年は体験(実験)から学生や地域の方の「備え」につながる「具体的な活動を一回りさせる」ところまでつなげて頂けると(活動の成功、失敗に関わらず)学生の成長のためにも、地域の防災のためにも大きな意義を持つと思います。

防災講演会

11月20日(木)、東北の大震災後の復興に尽力され、また野球部を率いて甲子園出場を果たした、宮城県立石巻工業高校の松本嘉次先生をお迎えし、防災講演会を実施しました。

震災発生時の様子や、厳しい現実を含めたその後の避難生活、そして学校再開に向けての取り組みなどを講話いただきました。支援を待つだけでなく、震災直後から行動を起こされていた先生の体験に基づくお話は、大変説得力があり貴重な学びとなりました。

講演会には、田野小学校の五・六年生や山田養護学校田野分校の皆さん、田野町教育長さんをはじめ行政、地域の方なども参加いただき、地域全体での防災力向上を意識するよい機会となりました。

専門の講師の方をお招きして

株式会社「ニコ・サン」代表取締役 藤本智恵氏 (講演会 一月九日(金))
「絵本は幸せのとびら」と題して、

読み聞かせの実演、絵本の大切さと読み聞かせの効果等についてお話しいただきました。生徒は絵本を通して感情を育てることを学び、幼児のころを思い出し、読み聞かせの奥深さや必要性を感じたようです。また、読み手にもたらす効果についても科学的に説明くださいました。仕事として乳幼児にかかわることを希望する生徒だけでなく、やがて親になる時のために、保育や育児について考える良い機会となりました。



(株)きたかむサルタン「モネの産」 中山孝子氏 (発表会 一月十六日(金))
チョコマーブルパウンドケーキ作りに挑戦しました。

アレンジの方法や、生地をマーブル状にするための方法など、プロならではの技法だけでなく、お菓子づくりで失敗しないための工夫など、様々な疑問にも答えていただきました。

講師の先生は本校の卒業生で、地元企業で活躍されている姿に「働くことの意義」を再確認すると共に「中芸地区の素晴らしさ」も感じていました。

韓国料理店「ニコ家」 徐允基氏(フードデザイン) 一月二日(水)

韓国料理初心者の生徒にも食べやすく、家庭でも簡単にできる献立として、正月にいただく「チャプチェ」と「トック」作りを学びました。食材の取り扱い方や味付けだけでなく、ヤンニョムなどの調理用語の解説や、韓国の食文化や食事情などの話も添えながらわかりやすく指導していただきました。食事を彩る食卓の大切さや、韓国語の「いただきます」「ごちそうさまでした」「おいしい」などの挨拶も教えていただき、異文化に親しむことができました。

山芋祭りに参加

12月14日(日)、三年山田君、二年有岡君と中山地区山芋まつりのお手伝いに行ってきました。五月に地域の方と共に植え付けに参加しましたが、今回はその収穫祭です。高知大学生と一緒に、出店を手伝いました。

はじめはなかなか声も出さず戸惑っていましたが、徐々に慣れ笑顔で対応できるようになりました。抽選会に当たり、景品をもらうこともでき、ラッキーでした。前日は中芸学発表会で行事が続きましたが、参加して楽しい一日を過ごすことができました。

1年次生

チーム名	テーマ(タイトル)	発表内容
チームOB	田野町の食について	田野町の食「野菜、魚、塩」と中芸高校のOBが考案したすりみドッグについて。
RSMYT5☆ G5	気象災害と田野町の浸水被害	気象現象と災害、田野町の過去の災害について調べ、浸水被害マップを作成。
チームなかじま	田野町の防災	田野町で災害が起こった時、どこに避難するか、防災対策はできているか、中芸高校生に求められること。
中芸っ子	~Tano History~	濱口雄幸の旧邸、福田寺、岡御殿について。

2年次生

奈半利町観光マップ制作係	奈半利町におじゃマップ	奈半利町について調べ、自分たちなりに、ヤングコース、アダルトコースに分けて、観光マップを作成。
安田探検隊	安田の食文化巡り~温故知新~	歴史ある安田町の食文化を調査し、今の人たちに知ってほしい安田町のメッセージ。
PAST&NEW	お弓祭りと魚梁瀬森林鉄道奈半利川線	北川村が誇る二大重要文化財、星神社の「お弓祭り」と「魚梁瀬森林鉄道奈半利川線」について。
馬路ウオッチ	h u m a n ~レジェンド 繋ぐ伝説~	森林鉄道の歴史と今の関係をテーマに馬路村のお宝を紹介。

3年次生

大器晩成	奈半利の食を発展させる	いちじくを使った商品を奈半利駅特産館と共同開発。ソフトクリームに混ぜるいちじくソース開発の取組。
チーム久保 レンジャー!!	そのとき、 どうする!?	災害時に中芸高校生として、私たちがやらなければいけないこと、私たちができることを考察。
The 中食	ご当地定食	中芸地域で採れる食材にこだわって、定食作り!! 給食で取り入れてもらうことに。